

全体目標

がんによる死亡者の減少  
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の  
軽減並びに療養生活の質の維持向上

がんになっても安心して暮らせる社会の構築

部会が  
担当する  
分野の  
課題と目  
標

**【目標】がん患者さんやその家族ががん相談を希望すれば、いつでもどこでも質の高いがん情報の提供や相談が受けられ、よりよい治療法及び療養場所を選択することができる。**

**中期目標:** 2015年3月までに県民の50%が相談窓口を知っていて、その8割ががんの悩みを解決でき、相談窓口での対応に満足している。  
**指 標:** ①相談窓口認知度、②患者満足度  
**測定方法:** 患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

**最終目標:** 2018年3月までに県民の80%が相談窓口を知っていてその8割ががんの悩みを解決でき、質の揃ったがん相談員が拠点病院、支援病院に配置されている。  
**指 標:** ①相談窓口認知度、②患者満足度  
**測定方法:** 患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

施策  
毎の  
アウト  
カム  
目標

**【アウトカム1】**  
2015年3月までに県民全体の50%が相談できる場を知っていて、希望した時にいつでも利用できる。  
(必要な情報や相談場所にアクセスできる)

**【アウトカム2】**  
その地域に不足している資源や課題が明らかになり、相談員間で質の揃った対応が可能となる。  
(相談支援に関してフィードバックを得る体制が整備されがん相談の質向上に還元できる)

**【アウトカム3】**  
インフォームド・コンセントが行われる体制と、患者自らが治療内容や治療法を確認し選択できる環境が整備される。

施策  
毎の  
アウト  
プット  
目標

**【アウトプット1】**  
地域の療養情報を集約し医療機関間およびがん患者間で共有できる。

**【アウトプット2】**  
がん患者と家族に県内の相談支援センターが周知される。

**【アウトプット3】**  
ピアサポーターやがん患者団体等との連携協力体制が構築される。

**【アウトプット4】**  
産業保健関連職種との連携のもと、就労支援が提供できる。/医療者・就労支援担当者との連携がとりあえる。(件数)

**【アウトプット5】**  
患者・家族満足度調査を実施することができ、相談支援センターの課題が抽出できる

**【アウトプット6】**  
県内の相談支援センターから提供されるサービスの質が担保される。

**【アウトプット7】**  
がん相談支援に携わる者に対する教育研修の場を提供し支援サービスが向上する。

**【アウトプット8】**  
活動に関するフィードバックや他県の取り組み等の情報を収集し県内で共有できる。

**【アウトプット9】**  
地域の医療機関および医療従事者に関する情報が共有できる。

施策  
アク  
ション  
プラン

**【施策1】**  
「地域の療養情報2016年版」配布後の評価を行い、2017年版を作成・発行する。

**【施策2】**  
2017年3月までにチラシ配布やラジオ番組の参加を行う。/既存のチラシの修正

**【施策3】**  
患者サロン間の情報交換会を開催する。

**【施策4】**  
就労支援に関する事例に関して、社会保険労務士等との研修会意見公開会を1回以上開催する。/就労相談に関する院内勉強会を開催する。

**【施策5】**  
相談センター認知度調査をもとに、満足度調査表を作成する

**【施策6】**  
相談支援センターチェックリストを作成し、拠点支援病院で実施する

**【施策7】**  
九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラムin沖縄を、2016年3月までに開催する

**【施策8】**  
部会委員が相談支援部会の活動実績を学会等で報告する。

**【施策9】**  
県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成し公開する。

導き出された  
対策  
項目

**【対策項目1】**  
相談窓口の機能、役割についての情報を患者、市民に知らせる

**【対策項目2】**  
相談支援の充実と質の向上

**【対策項目3】**  
運営資源の充実化

## 平成 28 年度 第 3 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会

日 時：平成 28 年 8 月 25 日（木） 14：00 ～ 17:00

場 所：琉球大学医学部附属病院 3 階がんセンター

出席者：7 名 樋口美智子（那覇市立病院）、島袋 幸代（沖縄県立中部病院）、平良芳子（県立八重山病院）、佐渡山英子（県立宮古病院）、仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、増田昌人、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、

陪席者：3 名 伊良皆香代（県立八重山病院）、（県立宮古病院）井上亜紀（琉球大学医学部附属病院）、

### 【報告事項】

#### 1. 平成 28 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨

協議に先立ち、資料 1 に基づき、樋口副部長より、平成 28 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会議事要旨が承認された。

#### 2. がん患者ゆんたく会について（4～7 月）

資料 2-1, 2-2, 2-3 に基づき、樋口副部長より、4～7 月に各拠点病院にて開催された「沖縄県がん患者ゆんたく会」について報告があった。島袋副部長より、中部病院では 5 月のゆんたく会からピアサポーターの勉強会を開催しているとの報告があった。

#### 3. がん相談件数（4～7 月）

資料 3-1, 3-2, 3-3, 3-5 に基づき、樋口副部長より、1～3 月の各拠点病院のがん相談件数について、報告があった。

#### 4. 各部会事業の進捗報告について

##### (1) 【施策 1 関連】地域の療養情報 2017 年版について

資料 4 に基づき、大久保委員より、ハンドブックの第 1 回ワーキングを開催して各原稿分担を決め、内容については、次回 WG で、削除した方がよい内容の検討や患者の立場の方にはコラムの執筆を依頼、離島冊子の紹介・臨床試験情報・がん登録情報・アピランスなどの情報を盛り込み進めて行くとの報告があった。

##### (2) 【施策 2】がん相談支援センターの広報、チラシ改版について

資料 5 に基づき、大久保委員より、8 月末日には納品されるので、がんセンターより、9 月から随時、拠点 6 病院・がん専門病院やホスピス・その他の病院 28 施設・がん診療が可能な病院 141 施設・市町村役場国民健康保健課もしくは国保年金課 41 施設へ、発送業務を進めていくとの報告があった。

##### (3) 【施策 3】患者サロン間の情報交換会について

大久保委員より、年度末までに、世話人会（第 3 回がんサロンネットワーク）を開催する予定であるとの報告があった。

(4) 【施策 4】 就労支援関係者との意見交換会について

大久保委員より、年度末までに、社会保険労務士の方・ハローワークの方・病院の就労支援関係者とのハローワーク見学会や意見交換会を行う予定であるとの報告があった。

(5) 【施策 10】 セカンドオピニオン・リスト作成について

琉大事務方より、セカンドオピニオン・リストの更新依頼文書を配布し、現在、回収取りまとめをしている最中であり、10月中を目途に協議会 HP にアップしたいとの報告があった。

【協議事項】

1. 【施策 8】 九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラムについて

資料 6-1, 6-2 に基づき、大久保委員より、全体概要、講演の部、グループワークの部について説明があり、以下のように協議がなされた。

【全体プログラム】

2/10(金)	15:00~17:00	実行委員会 最終会議(県内・県外)
2/11(土)	9:00~9:30	当日打ち合わせ・会場準備 ※博物館への入館は 9:00~
	9:30~	受付開始・昼食代金の受け取り?
	10:00~10:15	開会 <u>(司会：平良さん・県立八重山病院)</u> (1) 開会挨拶： <u>増田先生・琉大病院・相談支援部会長</u> (2) 来賓挨拶：沖縄県がん診療連携協議会議長 (3) 来賓挨拶：県保健医療部長 事務連絡 <u>(担当：大久保さん・琉大病院)</u> (1) 全体オリエンテーション (2) 事務連絡 (フォーラム・昼食・懇親会など)
	10:20~12:00 (100分)	各県の発表 各県の部会取り組み(5~7分)+初期のがん告知支援(4~5分)×8県
	12:00~13:30	昼休憩 ※実行委員は、交代で昼休憩 11:30~12:30/12:30~13:30
	13:30~15:00 (90分)	講演<パネルディスカッション> <u>(座長：増田先生・琉大病院、佐渡山さん・宮古病院)</u> 20「HIV」宮城 氏・看護師・琉大病院 20「ALS」金城正高先生・神経内科医師・沖縄県立中部病院 20「ALS」植竹日奈氏・MSW・国立病院機構まともと医療センター-中信松本病院 3「指定発言者①」 <u>伊敷多美子さん・南部徳洲会病院</u> 3「指定発言者②」 <u>仲宗根るみさん・北部地区医師会病院</u> 3「指定発言者③」 <u>(上原弘美さん)・サバイバー</u> 21「Q&A」・「まとめ」

	15:00～15:15	休憩 ※机と椅子を移動して、グループワーク用レイアウトに変更
	15:15～16:45 (90分)	グループワーク (チーフファシリ：橋本久美子氏？・聖路加国際病院) (サブチーフファシリ：島袋さん・中部、仲宗根さん・北部地区医師会) (グループ・ファシリ：県内及び県外実行委員) 5「オリエンテーション」 50「各グループ情報交換・グループディスカッション」 30「各グループの発表・全体共有」 5「まとめ」
	16:45～17:15	閉会式 (1)講評 or 挨拶①：沖縄県健康長寿課長 (2)講評 or 挨拶②：国立がんセンター (3)講評 or 挨拶③：国立がんセンター (4)閉会挨拶：樋口さん・那覇市立病院・相談支援副部長 受講証配布
	17:15～18:00	撤収作業
	18:30～	懇親会を予定

【入館】(1)博物館への入館は9:00からの規則。

【昼食】(1)昼食は、博物館内のカフェ「茶花」で、①11:30～12:30、②12:30～13:30の二交代。

(2)メニューは、1080円前後のドリンクセットメニュー(グリーンカレー、ハヤシライス)で設定。

【会場】(1)9:00～15:00：シアター形式(講演・パネルディスカッション)

(2)15:15～17:15：グループワーク形式(グループワーク)

【人員】(1)司会：平良芳子さん(県立八重山病院)

(2)開会挨拶：増田昌人先生(琉大病院・部会長)、

(3)事務連絡：大久保礼子さん(琉大病院)

(4)講演座長：増田昌人先生(琉大病院・部会長)、佐渡山英子さん(宮古病院)

(5)指定発言者：①伊敷多美子さん(南部徳洲会病院)、②仲宗根るみさん(北部地区医師会病院)、

③上原弘美さん(サバイバー)

(6)ファシリ：サブチーフ①島袋幸代さん(中部病院)、仲宗根るみさん・北部地区医師会)、  
グループ・ファシリ(県内及び県外実行委員)

\*事前課題を当日持ち寄ってもらう。

\*有効な発言をしてもらえるよう、各グループの発表者選定に留意する。

\*ファシリマニュアルが必要ではないか？

(7)閉会挨拶：樋口美智子さん(那覇市立病院・副部会長)

【来賓】(1)開会の挨拶：藤田次郎先生(沖縄県がん診療連携協議会議長・琉大病院長)…総務課と調整

(2)開会の挨拶：砂川靖氏(沖縄県保健医療部長)…県に打診、調整

(3)閉会の講評 or 挨拶：山川宗貞氏(沖縄県健康長寿課長)…県に打診、調整

【主催】 沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会

【共催】 or 【協力】 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

【後援】 沖縄県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県（順不同）

## 2. 【施策 1 関連】 地域の療養情報について

資料 7 に基づき、増田部会長より、2016 年版の県の在庫が無くなってしまったことから、各病院の 2016 年版の残数について、確認させていただきたいとの提案があった。中部病院・那覇市立病院は、在庫(配布数：1300 冊)が不足しそうなペースであり、宮古病院では 8/25 時点で在庫(配布数：300 冊)は 100 冊弱で無くなりそうなペース、八重山病院では 8/25 時点で在庫(配布数：300 冊)は 45 冊しかないので 50 冊程度ほしいとの報告があった。北部地区医師会では在庫(配布数：200 冊)に余裕が出そうなので八重山病院に少し譲ることになった。琉大病院でもいくつかの病院に譲っているが、院内で毎月 100 冊程度の配布が続くので年度末までの在庫(配布数：3000 冊)の確保が必要であるため、他院には 200 冊程度しか譲ることができない状況であるとの周知があった。

増田部会長より、2016 年版の各病院の在庫が無くなってしまったら、県に増刷の要望をすることの提案や、次年度 2017 年版の配布案については、毎年新規のがん患者さん約 8000 名(がん登録データにより)に配付できるよう想定した配布案を次回次々回の部会で検討することが提案され、承認された。

## 3. 【施策 3】 がんピアサポーター養成講座について

資料 8 に基づき、大久保委員より、地域統括支援センターからの要請で、10/29 実施のがんピアサポーター養成講座のファシリを大久保委員含め 3 名を部会から推薦してほしい旨の依頼があるとの報告があった。

相談支援部会から、島袋副部会長・仲宗根委員・大久保委員の 3 名を推薦することが承認された。がんピアサポーターの活動について、各拠点病院のゆんたく会見学を実習としてはどうか、などの実践活動が出来る場を考えて行きたいとの協議がなされた。

## 4. その他

### (1) 沖縄県のがん登録報告書について

増田部会長より、沖縄県のがん登録報告書が各病院で役に立っているか、今後追加してほしい内容があるかの確認があり、有効活用している病院や、自院のがん診療の証明となったなどの回答があった。追加してほしい項目として、ステージ毎の手術有無しの分類を記載してほしいなどの意見があった。また、増田部会長より、がん登録報告書の活用説明会をやりたいとの提案があったが、部会員から、有効活用のレクチャーをしてほしい、関心のある人はいるはずとの意見が得られた。

### (2) がんピアサポーター養成講座の離島への旅費助成について

平良委員より、離島からの参加の際には旅費の助成があるのかどうかの質問があり、増田部会長より、今回、離島からの参加者(1 名)には旅費の助成をしているとの回答があった。

### (3) 次回、平成 28 年度第 4 回相談支援部会開催日について

第 1 候補日： 平成 28 年 12 月 8 日

<参考>

九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム in 沖縄の実行委員会の開催日について

第3回 : 平成28年10月4日

第4回 : 平成28年12月6日